



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月9日

上場会社名 株式会社 アイティフォー

上場取引所 東

コード番号 4743 URL <https://ir.itfor.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 恒徳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 中山 かつお

TEL 03-5275-7841

四半期報告書提出予定日 2022年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	8,959	3.9	1,575	8.3	1,621	7.8	1,111	5.9
2022年3月期第2四半期	8,627		1,717		1,759		1,180	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,203百万円 (1.4%) 2022年3月期第2四半期 1,186百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	40.28	40.18
2022年3月期第2四半期	43.00	42.84

(注) 1. 「1株当たり四半期純利益」および「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」の算定上、「取締役向け株式交付信託」が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております。

2. 2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。当該基準の適用により、売上高および利益に影響が生じるため、2022年3月期第2四半期における対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	19,896	16,009	80.3	578.77
2022年3月期	20,010	15,606	77.9	565.00

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 15,985百万円 2022年3月期 15,579百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		30.00	30.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2022年3月期配当金の内訳 普通配当25円00銭 記念配当5円00銭(創業50周年記念配当)

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	8.7	2,875	5.2	2,941	5.3	1,943	8.0	70.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 「1株当たり当期純利益」の算定上、「取締役向け株式交付信託」が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	29,430,000 株	2022年3月期	29,430,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,811,204 株	2022年3月期	1,856,204 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	27,586,754 株	2022年3月期2Q	27,452,325 株

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数には、「取締役向け株式交付信託」が保有する当社株式を含めておりません。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績等の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会資料の入手方法)

本日2022年11月9日に機関投資家およびアナリスト向け決算説明会の開催、ライブ配信を予定しております。決算説明内容の動画および決算説明資料は後日、当社IRサイトに掲載いたします。(<https://ir.itfor.co.jp/>)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは2021年度から2023年度を対象とした中期経営計画を策定し、経営基盤の強化、収益性の向上、E S G経営の進化の3つを柱に、「お客様に寄り添うチカラ」で持続的成長の実現を目指し、計画の達成に向け事業活動を推進しております。

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日~2022年9月30日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症対策や各種行動制限の緩和により、経済活動の正常化が進み、景気は穏やかに持ち直しています。

一方、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う資源エネルギー価格の上昇、内外金利差拡大に伴う急激な円安進行による輸入物価の上昇等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く国内ITサービス業界では、「非接触」や「非対面」を実現するデジタル化のニーズが引き続き高く、AIやブロックチェーンなど、デジタル技術を活用したビジネスプロセスやビジネスモデルの変革を行うDX(デジタルトランスフォーメーション)を中心に企業の投資意欲は拡大傾向にあります。その一方で、一部の業種や企業では円安や原材料高などの影響により、IT投資の抑制や先送りの可能性があり、企業の投資計画の見直しについて注視しております。

営業活動においては、金融機関を中心に、当社の主力である延滞債権管理システムの安定的な受注に加え、業務の非対面化を実現する個人ローン業務支援システム「SCOPE」とローンWeb受付システム「WELCOME」を組み合わせた販売が引き続き好調に推移しました。申込用紙の削減や契約書類も電子化することで環境への配慮を実現しつつ、審査に費やす時間の短縮に貢献しております。また、延滞債権督促業務を無人化した「ロボティックコール」の販売が好調で、ノンバンクに加え家賃保証会社にも新規導入されるなど、利用業種の裾野が広がっています。また、入金約束受付サービス「NYUS」などの機能追加ニーズにより、取引拡充に繋がっています。受注高は9,155百万円(前年同期比116.2%)、受注残は15,250百万円(前年同期比106.6%)と第2四半期累計期間として過去最高となりました。損益面では、前連結会計年度の期首から適用された収益認識会計基準等により前年同期に計上した売上・利益増の影響が当四半期連結累計期間ではなくなったことや為替の円安傾向の影響を受けております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は8,959百万円(前年同期比103.9%)、営業利益は1,575百万円(前年同期比91.7%)、経常利益は1,621百万円(前年同期比92.2%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,111百万円(前年同期比94.1%)と増収減益となりました。

なお、報告セグメント別の経営成績は次のとおりです。

(システム開発・販売)

基幹事業である金融機関向けのソフト開発、インフラ設備の更改、延滞債権督促業務を無人化した「ロボティックコール」の導入などにより販売は堅調に推移しております。また、マルチ決済端末「iRITSPAY決済ターミナル」の販売も好調に推移しましたが、為替の円安傾向の影響などを受けました。その結果、受注高は5,672百万円(前年同期比105.8%)、売上高は5,150百万円(前年同期比101.2%)、セグメント利益は959百万円(前年同期比99.3%)となりました。

(リカーリング)

安定収益源である保守サービスに加え、公共分野向けBPO(業務受託)サービスにおいて政令市・中核市を中心に、既存契約先からの追加受注に加え、新規受託先の売上が計上されるなど引き続き堅調に推移しております。その結果、受注高は3,483百万円(前年同期比138.3%)、売上高は3,809百万円(前年同期比107.7%)、セグメント利益は616百万円(前年同期比82.0%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は19,896百万円となり、前連結会計年度末に比べて113百万円減少いたしました。流動資産は16,117百万円となり、146百万円減少いたしました。主な原因は、有価証券が499百万円増加しましたが、現金及び預金が403百万円、棚卸資産が140百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が126百万円減少したことなどです。固定資産は3,778百万円となり、32百万円増加いたしました。主な原因は、投資有価証券が時価評価などにより132百万円増加したことなどです。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は3,887百万円となり、前連結会計年度末に比べて516百万円減少いたしました。流動負債は3,644百万円となり、530百万円減少いたしました。主な原因は、その他が300百万円、買掛金が164百万円、未払法人税等が122百万円減少したことなどです。固定負債は243百万円となり、13百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は16,009百万円となり、前連結会計年度末に比べて402百万円増加いたしました。主な原因は、剰余金の配当の支払いにより831百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により1,111百万円増加したことなどです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の77.9%から80.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は10,581百万円となり、前連結会計年度末と比べ4百万円減少いたしました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動から得られた資金は1,071百万円（前年同期比69.0%）となりました。主な増加要因は税金等調整前四半期純利益1,626百万円、減価償却費201百万円、棚卸資産の減少額140百万円、売上債権の減少額127百万円であり、主な減少要因は法人税等の支払額686百万円、仕入債務の減少額164百万円です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は277百万円（前年同期比95.4%）となりました。主な減少要因は無形固定資産の取得による支出152百万円、有価証券の増加額100百万円です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は800百万円（前年同期比135.4%）となりました。主な減少要因は配当金の支払額829百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の実績につきましては、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が前回公表を上回る結果となりました。詳細につきましては、本日（2022年11月9日）公表の「第2四半期業績予想と実績の差異に関するお知らせ」をご覧ください。

通期連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました予想からの修正はございません。

なお、業績予想は公表時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、実際の業績は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があるほか、予想自体についても今後変更となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,635,748	3,231,770
受取手形、売掛金及び契約資産	2,589,925	2,463,751
有価証券	9,099,782	9,599,771
棚卸資産	671,614	531,271
その他	266,964	291,316
流動資産合計	16,264,036	16,117,882
固定資産		
有形固定資産	619,687	613,244
無形固定資産		
のれん	115,717	88,647
その他	472,188	449,402
無形固定資産合計	587,905	538,050
投資その他の資産		
投資有価証券	1,784,683	1,917,070
繰延税金資産	180,668	148,117
その他	573,553	562,482
投資その他の資産合計	2,538,905	2,627,670
固定資産合計	3,746,498	3,778,965
資産合計	20,010,535	19,896,847

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	947,003	782,904
未払法人税等	684,661	562,417
賞与引当金	530,643	518,223
契約負債	808,087	876,838
その他	1,204,042	903,647
流動負債合計	4,174,438	3,644,033
固定負債		
退職給付に係る負債	201,675	203,307
株式給付引当金	15,540	27,750
その他	11,951	11,951
固定負債合計	229,166	243,008
負債合計	4,403,605	3,887,042
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,124,669	1,124,669
資本剰余金	1,359,266	1,361,930
利益剰余金	13,943,432	14,223,237
自己株式	△1,270,459	△1,239,729
株主資本合計	15,156,908	15,470,108
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	423,869	516,032
退職給付に係る調整累計額	△1,715	△1,109
その他の包括利益累計額合計	422,154	514,923
新株予約権	27,867	24,773
純資産合計	15,606,930	16,009,805
負債純資産合計	20,010,535	19,896,847

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	8,627,183	8,959,359
売上原価	5,452,972	5,659,251
売上総利益	3,174,211	3,300,107
販売費及び一般管理費	1,456,265	1,724,269
営業利益	1,717,945	1,575,837
営業外収益		
受取利息	3,062	1,722
受取配当金	24,956	27,844
関係会社株式売却益	1,306	-
持分法による投資利益	8,318	8,668
その他	25,815	22,323
営業外収益合計	63,459	60,557
営業外費用		
支払手数料	2,967	1,879
雑損失	18,917	13,100
その他	15	7
営業外費用合計	21,901	14,986
経常利益	1,759,502	1,621,408
特別利益		
新株予約権戻入益	3,500	5,362
特別利益合計	3,500	5,362
税金等調整前四半期純利益	1,763,002	1,626,770
法人税等	583,813	515,662
四半期純利益	1,179,189	1,111,108
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,284	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,180,473	1,111,108

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,179,189	1,111,108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,653	92,232
繰延ヘッジ損益	△96	-
退職給付に係る調整額	866	605
持分法適用会社に対する持分相当額	62	△69
その他の包括利益合計	7,486	92,769
四半期包括利益	1,186,675	1,203,877
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,187,960	1,203,877
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,284	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,763,002	1,626,770
減価償却費	156,096	201,695
のれん償却額	27,069	27,069
株式報酬費用	6,905	6,772
賞与引当金の増減額(△は減少)	23,175	△12,419
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△135	2,505
株式給付引当金の増減額(△は減少)	2,220	12,210
受取利息及び受取配当金	△28,019	△29,566
関係会社株式売却損益(△は益)	△1,306	-
持分法による投資損益(△は益)	△8,318	△8,668
新株予約権戻入益	△3,500	△5,362
売上債権の増減額(△は増加)	485,904	127,900
棚卸資産の増減額(△は増加)	285,889	140,343
仕入債務の増減額(△は減少)	△810,951	△164,098
長期未払金の増減額(△は減少)	△31,508	-
その他	190,690	△197,293
小計	2,057,214	1,727,858
利息及び配当金の受取額	28,037	29,695
法人税等の支払額	△532,242	△686,181
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,553,009	1,071,371
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額(△は増加)	△100,006	△100,011
有形固定資産の取得による支出	△82,108	△40,994
無形固定資産の取得による支出	△97,672	△152,890
投資有価証券の取得による支出	△1,959	△462
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△13,309	-
貸付金の純増減額(△は増加)	△12,750	4,500
その他	16,559	12,038
投資活動によるキャッシュ・フロー	△291,246	△277,819
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△89,999	-
自己株式の処分による収入	128,648	28,890
配当金の支払額	△629,941	△829,687
財務活動によるキャッシュ・フロー	△591,292	△800,797
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	3,237
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	670,469	△4,007
現金及び現金同等物の期首残高	8,672,163	10,585,599
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,342,633	10,581,591

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品・サービスのビジネス特性を基礎としたセグメントから構成されており、「システム開発・販売」、「リカーリング」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品およびサービスの種類

「システム開発・販売」は、主にシステム機器販売、ソフトウェアやシステムインフラ基盤に関する設計・開発から導入・設置までの一貫したサービスを提供しております。

「リカーリング」は、主にソフトウェア保守、ハードウェアの保守・運用、クラウド、BPOサービスを提供しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	システム 開発・販売	リカーリング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,090,558	3,536,625	8,627,183	—	8,627,183
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,359	1,595	2,954	△2,954	—
計	5,091,917	3,538,220	8,630,137	△2,954	8,627,183
セグメント利益	966,656	751,288	1,717,945	—	1,717,945

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	システム 開発・販売	リカーリング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,150,180	3,809,178	8,959,359	—	8,959,359
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,535	1,430	6,965	△6,965	—
計	5,155,716	3,810,608	8,966,324	△6,965	8,959,359
セグメント利益	959,638	616,198	1,575,837	—	1,575,837